

現在位置: [高校野球](#) > [大阪大会](#) > 記事

大阪大会ニュース

身体の問題頼れるセンパイ 登美丘OB・太田さん 大阪

2010年07月11日

大阪狭山市で整骨院を経営する登美丘OBの太田健太郎さん(31)が母校の応援スタンドに駆けつけた。16歳で椎間板(つかんぼん)ヘルニアになり、痛みと付き合いながら練習した日々。「当時は体が壊れるまで、という時代。休んだら試合に出られないと思っていた」。高校時代から体をケアする仕事に興味を持ったという。



後輩の試合を見守る登美丘OBの太田健太郎さん

5年前からけが予防につながるストレッチやチューブを使ったトレーニングを後輩に指導。学校にポータブルベッドを持ち込み、1日10~20人をマッサージすることも。竹本孝広主将(3年)は5月に腰を痛め、太田さんに毎週診てもらった。「練習を見ながら受けられるし、『もっとストレッチしろよ』と声を掛けてくれた」と感謝しきり。

太田さんは、2日前に選手の体を触ると硬さがなく、「大会に向けてリラックスしてる」と感じたが、試合では力及ばず。「どんだけ練習しても治したるぞ!」と後輩に奮起を促していた。=京セラドーム大阪(柳谷政人)